



学校通信

夕陽丘

第44号



校長挨拶

記念すべき110周年に卒業する68期生へ

校長 恩知 理加

68期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

本年2016(平成28)年は本校創立110周年の記念すべき年の卒業となります。昨年4月の着任から数えて、600枚印刷した名刺があと50枚ほどになりました。それほど、夕陽丘を通じて多くの人との出会いに恵まれたということです。その中から110年の歴史と伝統を彷彿とさせるエピソードを3つ紹介します。

1つめは、「日本教育新聞」の取材で、本校の女子生徒の代表から制服のエピソードを聴くことができたことです。夕陽丘出身のお母さんの薦めで小学生の頃から夕陽丘に憧れていたKさんによると、お母さんは今もなお大切にセーラー服を保管しているとのこと。2世代で同じ教育方針のもとと学べることに感謝の気持ちを語ってくれました。また、3年生のMさんは、「憧れて入学した学校だから、残りわずかの高校生活をセーラー服で過ごします」と感慨深げでした。「祖母の家を訪れる時は必ず標準服で行く」というYさん、孫の成長を喜ぶ様子が目に浮かぶようで心が温くなりました。

2つめは、本校の中庭にそびえ立つメタセコイアのエピソードです。このメタセコイアは1956(昭和31)年に創立50周年と中国からの教育視察団の来訪を記念し、高さ1mの苗木が植樹されました。メタセコイアについては、大阪市立大学の三木茂教授が約200万年前の地層から出る植物遺体(化石)を研究し名付けられたもので、1951(昭和26)年、有名な学術ジャーナルのサイエンスに本校旧職員の引田先生と共同で論文を発表されました。このご縁から、同じ大阪市立大学の岡野浩教授が、この度、「メタセコイア普及の歴史や植物的な社会デザインについて夕陽丘の生徒の皆さんと私たちと共同で調べてみませんか」と声をかけてくださったのです。60年の時を越えて、大阪市立大学と本校生徒との共同研究が復活し、双方のシンボルともいえるメタセコイアについて、生息マップづくりやメタセコイアシンフォニー(仮題;メタセコイアから作った楽器で演奏します!)など夢が大きく広がります。

3つめは、今年が110周年の年ということで、「110にちなんだ取組を募集しています。夕陽丘の110人、110作の展覧会、110人の吹奏楽など何でも結構です。」と同窓生や旧職員の皆さまにお伝えしていたところ、旧職員の佐藤隆一先生から「前田純孝選歌110首」(※)が届きました。思わず「うわーっ。嬉しい! 気にかけてくださって」と声を上げてしまいました。

「こころある人は来て見よ夕陽丘 春を限らぬちぬのながめを」

このように、夕陽丘高校は、生徒の皆さん、教職員の皆さんはじめ、多くの方々の思いがたくさん詰まった学校です。

「♪ときうつり 人はかはれど 紫紺の大旗 とこしえに」、68期生から69期、70期、さらには今春入学の71期へ夕陽の校風を受け継ぎ、新たな歴史を創造してください。皆さんに「幸多かれ」と願っています。

※夕陽丘の前身大阪府立島之内高等女学校の初代教頭、東の啄木(たくぼく)、西の純孝(じゅんこう)と並び称された明治末期の我が国の若き詩人

発行 〒543-0035 大阪市天王寺区北山町10-10 大阪府立夕陽丘高等学校

TEL 06-6771-0665 FAX 06-6771-6267 E-mail: z-yuhigaoka@sbox.osaka-c.ed.jp

ホームページ <http://www.osaka-c.ed.jp/yuhigaoka> (題字 森 敏行先生)

【第三学年】より

『燦』然と輝くために

学年主任 井上 恭

68期生の担任団が学年のスローガンを『燦』と決めたのは、皆さんが充実した学校生活を送り、3年後には目映いばかりに輝きながら卒業していつてくれるようにとの願いからです。ただし、宝石であっても、その原石は磨かなければ光ることはなく、ただの石ころと同じです。そのため、皆さんという原石を最初の2年間は学校が磨き、3年目からは皆さんが自分の力で磨いてほしいと、昨年2月の学校通信で書きました。また、皆さんは高校で非常に多岐にわたる分野の専門家から指導を受けますが、これは極めて稀な、人生で1度きりの特別なシステムであり、それを最大限利用してほしいということも他の学校通信で書きました。

今、自らの3年間を振り返ってみてどのように感じますか。高校というシステムを十分活用し、確固たる目標を打ち立て、それに向かって最大限の努力をし、目標を実現することができましたか。

できた人は、その成功に甘んじることなく、さらに次の目標を定め、それに向かって努力を続けてください。今の目標を実現できたのはひとえに努力の結果であり、努力を止めると次の目標は遠ざかっていきます。それは自分自身がよく知っていることでしょう。今回実現した目標は、途中の目標であり、最終目標ではなかったはずです。どうか努力を続けて最終目標に到達し、『燦』然と輝く未来を手に入れてください。

一方、目標を実現できなかった人はどうすればいいのでしょうか。そういう人の方が多いのかもしれません。ですが、すべきことは決まっています。新たに次の目標を立て、そのためにやるべきことを決めてください。そう、高校で実行したことと同じことをすればよいのです。それがうまくいかなかったのにと不安に思う人は、今回の失敗を反省し、それを次回に生かすような工夫を取り入れればよいのです。より良い人生を望む限り、人生は、目標を決め、目標への計画を立てて実行に移すということの繰り返しです。これから先、何度も同じことを行うこととなります。今回はたかだか1度失敗しただけです。その失敗も将来振り返ってみると失敗ではなかったと思えるのかもしれませんが、皆さんはまだ20歳にもなっていません。これからも何度も失敗を経験します。そのたびに挫折感を味わうことになるのかもしれませんが、それに負けることなく再び立ち上がり、次の目標へと進んでいってください。

そうして、挫折しても立ち上がることのできる強さを身につけいつか目標に到達して『燦』然と輝いてほしいというのが、68期生担任団の本当の願いです。素晴らしい未来を手

されることを願っています。

卒業おめでとう。



【第二学年】より

無常迅速

学年主任 草間 義彦

69期、2年生での学年目標は「充実した高校生活をめざし、3つのガク力を身につけよう（学力・楽力・額力）」でした。修学旅行をはじめ、体育祭、文化祭などの様々な行事で「楽しむ力」を発揮し、満足のいく成果を得ることができましたか。「楽しむ力」とは、好きな事だけを「楽しめる力」ではなく、どんな事に対しても「楽しみ」を見つけ、その準備段階から成功へ向けて考え、行動できる力です。3年生では、この力を受験へ向けて欲しいと思います。新たな進路先での自分の姿をイメージし、準備に取り掛かってください。

もう一つの「学力」はどうでしょう？「ほとんど自主学習をしない」という割合は、4月では32%でしたが、8月のアンケートでは25.1%となり、現在はさらに、自主学習をしていない人の数は減っているかと思えます。しかし、問題はどれくらい時間をかけているかです。この春休みから、しっかり時間をかける習慣を身につけて3年生の4月を迎えるようにしましょう。

そして、最後の「額力」（創意工夫と思いやりの力）。この1年、相手の立場を理解し、思いやりをもって接することはできたでしょうか。これは、夕陽丘高校の教育方針、気品と情操につながる力だと思います。相手の気持ちを考えての行動は、いずれ自分にも帰ってきます。これからも、これらの力を身につける努力を続けて欲しいと思います。

さて、「今を輝く69期生」もいよいよ最終学年です。表題にある「無常迅速」とは、人生はあっという間という意味。時間を無駄にせず、一瞬一瞬を無意識にやり過ごしてはいけないということです。これから、卒業までの時間は、ほんとおつという間です。目標が定まらず、気持ちが散漫な状態では時間は無意味に過ぎてしまいます。向かう方向をしっかり定め、一瞬一瞬を無駄にしない行動を心がけてください。

【第一学年】より

「逝者如斯夫、不舍昼夜」

学年主任 植松 健一郎

みなさんは、この一年でどれだけ成長できましたか。私自身はほんの少しですが、成長したように思います。人はいくつになっても成長できるものだなと感じました。年配の私でも成長できるのですから、若いみなさんなら、なおさらです。

表題の「逝者如斯夫、不舍昼夜」は、孔子が川のほとりに立って述べた言葉です。「逝く者は斯のごときかな、昼夜を舍かず。」と訓じ、朱子は、昼も夜も休みのない川の流れのように、人間も間断なく努力をすべきだという、人の進歩について希望を述べたものだと解しました。この言葉は、絶えまない努力が、人として成長する上で大切であることを示しています。

ところで、成長する上でもう一つ大切なことがあります。それは、仲間とともに成長することです。最初は細い一筋の流れがいくつも集まって川になり、さらにそれが合流して、大河となっていくように、仲間と力を合わせることで、さらに大きく成長していくことができます。70期生の学年スローガンは「響き合う70期」です。来年度は、さらにすばらしいハーモニーを心に響かせながら成長していけることを願っています。

【教務部】より

学 問

教務部主任 岩元 健

「学んで問う」「問うて学ぶ」と書く学問。自ら疑問に感じたこと、不思議に思うことを問いただし、解き明かしていく、それが学問でしょう。最近、教育界では、「アクティブ・ラーニング」という言葉がよく出てきます。生徒諸君も聞いたことがあるかもしれません。それは、基礎的な知識・技能を習得するとともに、それらを活用しながら、自ら課題を発見しその解決に向けて主体的・協働的に探求する。そして、その学びの成果等を表現し、更に実践に生かしていく。と、というような学習の一形態を表す概念です。本来、学問を積むとはそういうものであり、学ぶ者自らが主体的に取り組み、時に共同して学んだ事を広めて世の中の役に立てていくものです。『論語』の中にも、

「学んで思はざれば則ち罔し、思ひて学ばざれば則ち殆し」（学而不思則罔、思而不学則殆）と出ています。学んでも（与えられるだけで）自らよく考えなければよくわからないし、自分で思っているだけで（理論を）学ばなければ役に立たない、ということです。

君たちの目の前には、進級や受験といった壁があり、そのために本当の意味での学びができていないかもしれません。少し意識を変えて、やらされる・与えられる勉強から自ら取り組む勉強へとシフトすることが必要でしょう。学問とはもともと楽しいものだったのです。わからないことが、わかるようになるのだから。そして、それを仲間と共有すれば楽しみも倍増し、より高い学習へと昇華させることができるでしょう。その時、進級や受験の壁なんてあっさり乗り越えてしまっているでしょう。そのためには努力がいります。一人で難しければ、仲間がいます。クラスで、学年で、Team「夕陽丘」で、本当の学問を究めよう。

地上から見ているのは じつは雲の裏側だったと気づく
精神の低いところを徘徊しては
生きることの意義の輝かしい表は見えない
と 雲海は告げている （『雲海』 川崎洋）



【進路指導部】より

★ ★ 行事報告 ★ ★

● 1年進路講演

11月5日（木）ヴィオーラホールで「夢を持って生きることの意味」と題して
佛教大学教育学部原清治教授にご講演をしていただきました。

進路を考える上で必要なことを多彩な表現でわかりやすく語っていただきました。

● 2年進路講演

12月17日（木）ヴィオーラホールで「夢を実現する人はこう考えます。」

近畿大学入学センター課長 屋木清孝先生にユーモラスにしかもポイントを押さえたご講演を
していただきました。

ほぼ同じ内容で16:30から保護者の方々にもご講演をしていただきました。

親子で共通認識を持っていただけたのではないかと思います。なおこの企画は平成28年度は11月17日（木）に行う予定です。

●2年卒業生を囲む会

2月4日（木）卒業生（67期生）に来てもらい、受験勉強の経験や大学でどんな勉強をしているのかを2年生の生徒に語ってくれました。

（夕陽丘高等学校のWEBページもご覧ください。）

●起業家に聴く

1月22日（金）キンダーキッズ社長中山貴美子さんからどうして起業したのか。自分の子供をバイリンガルに育てることも成功させた話を聞かせていただきました。

（夕陽丘高等学校のWEBページもご覧ください。）

【保健部】より

健康診断再考 —この春の健康診断が変わります—

平成28年4月より、健康診断の必須項目から座高が外れます。一昔前の健康診断は呼び名を発育測定とし、項目は4つでした。即ち、身長と体重に座高と胸囲がありました。胸囲が平成7年に外れ、今回は座高が外れます。座高に関しては、栄養状態の影響を受けずに骨の発育を表す指標として、発育をダイレクトに知る目安であるとされていました。また、座高は身体の重要器官（内臓）を包蔵する重要な部分の大きさですので、体格、体質の判定に大いに利用された時代がありました。

健康診断の項目が減る一方で、4月からの健康診断には「四肢の状態」が必須項目にあげられています。検査時のポイントは、四肢の形態、発育並びに運動器の機能の状態です。運動器とは、骨・関節・筋肉・靭帯・腱・神経など身体を支えたり動かしたりする器官をいいます。

現代、児童生徒の運動に関する二極化が問題になっています。幼い頃から特定のスポーツを専門的に行っている子どもには、行き過ぎたトレーニングの結果、重度のスポーツ障がいが見られる場合があります。例えば、野球による肘の障がいを例にしますと、その初期であれば多くが正常に回復しますが、進行期では約半数に障がいが残ります。さらに終末期になると、肘が伸びない・曲がらない・動かすと痛いなどの症状が常態化する場合があります。悲惨な結果を避けるために、早期発見が必要ですが、野球検診に代表されるフィールド検診には限界があります。そこで、学校現場で全員対象の健康診断項目にあげようということになったのです。

一方で、外遊びを経験せずに過ごす者も多数みられます。運動不足の子どもには、体力・運動能力の低下、さらには運動器の機能不全が生じやすくなります。例えば、しゃがみ込みができない、腕をしっかり上げることができない、膝を伸ばして立った姿勢で手が床につかない子どもたちが少なくなることが指摘されています（2005年「運動器の10年」日本委員会）このような機能不全の状態では外傷や故障を生じやすいことは容易に推察できます。実際の健康診断では、全員の運動機能をみるのは時間的に無理ですので、事前の健康調査を実施します。健康調査には6項目が挙げられます。以下に挙げておきます。運動不足が思い当たる人は、少しずつ身体を動かすことから始めてはどうでしょうか。オーバーユースが原因で痛みのある人は早急に専門医（整形外科）の診察が必要かもしれません。痛みのある人は顧問の先生や保健室まで相談して下さい。

腰を曲げたり、そらしたりすると痛みがある	腕・脚を動かすと痛みがある
腕・脚に動きの悪いところがある	片脚立ちが5秒以上できない
しゃがみこみができない	背骨が曲がっている

【国際交流委員会】より

The Course We've Followed This School Year

〈4月〉

前期開始時より、新たに2名の留学生（フィンランド・ニュージーランド）が加わる

4月24日（金） 留学生2名の歓迎会と KAKEHASHI Project（アメリカ研修旅行）の報告会を実施する



〈6月〉

6月4日（木） 国際交流講演会を実施する：外務省 岸守一氏

「国際社会を理解するための“まなざし”～見えているものは、実は見えているものではない～」

6月11日（木） 帰国を控えている留学生3名（カナダ・オーストリア・中国）の学習発表会を開催する

6月26日（金）～7月17日（金） 短期留学生1名（アメリカ）を受け入れる

〈8月〉

夏休み明けより、新たに4名の留学生（フランス・カナダ・アメリカ・中国）が加わる

〈9月〉

9月28日（月） 留学生4名の歓迎会とニューヨーク語学研修参加者による決意表明会を実施する

〈1月〉

1月17日（日） 奈良での国際交流イベント（本校14期生主催）に留学生2名がボランティアとして参加する

〈2月〉

2月1日（月） 帰国を控えている留学生2名（アメリカ・フィンランド）の学習発表会と語学研修参加者による Presentation in English を開催する

〈3月〉

3月16日（水）～27日（日） ニューヨーク語学研修を実施する



【♪音楽科】より

Welcome to Viola Hall!

皆さんはヴィオラホールで行っている音楽科行事「特別公開講座」を知っていますか？世界で活躍するスペシャルな音楽家をお招きして、私たちの目の前で一流の演奏をしていただけるという、何とも贅沢な時間です。今年度は7月にテノール歌手の福井敬氏、そして12月にチェリストの宮田大氏をお迎えしました。

福井敬氏は数々の受賞歴をお持ちで、オペラ歌手としてご活躍です。伸びやかな歌声がホールいっばいに響き渡り、また客席まで下りてきてくださって、「さとうきび畑の唄」を会場の皆さんと一緒に歌うサプライズまで！ また宮田大氏はまだ29歳という若さでありながら、各地のオーケストラと共演するなど、これからも見逃せないプレイヤーです。ピアニストとのセッションに、会場中息を飲みました。どちらも終演後涙を流す生徒もいて、本物に触れた喜びというものが感じられたひとときでした。

この特別公開講座は生徒や保護者の皆さんにも来ていただけるものです。夕陽丘高校ならではのこの企画。放課後のひとときを音楽で心を満たしてみませんか？ ぜひ来年度もお知らせをチェックしてみてください！

♪おまけ

先日大阪府のキャラクター「もずやん」の歌の歌詞の公募があり、2-8 細川さんと1-8 山下さんの作品が採用されました！
2月20日に万博記念公園で行われた授賞式に出席し、知事と副知事のもずやんより表彰を受けました！



【前田純孝賞】 学生短歌コンクール入賞作品発表

とび去りて又つととまるつととまる赤とんぼ一つ墓石の角

この和歌は本校の初代教頭の前田純孝先生の作品です。また、先生は夕陽丘高等女学校の校歌も作詞されています。その先生の功績を記念して、「前田純孝賞」が制定され、今年で第二十一回を迎えます。

本校からは、毎年多くが生徒が応募し入選しています。本年は、次の人たちが入選しました。

〈 準前田純孝賞 〉

時たてば想う気持ちが積もりゆき白から紅へと変わる酔芙蓉 一年六組 奥保 奈菜

〈 新温泉町長賞 〉

あこがれた夕陽丘で今過ごすなりたい自分になれていますか 二年一組 松裏 三奈

〈 新温泉町教育委員長賞 〉

人物を描きおえてから気がつくよ構図の歪み背景の白さ
歌声に全てを乗せて届けたら観客席から聞こえるブラボー

二年二組 松江 渚
二年八組 西山 葉月

〈 神戸新聞社賞 〉

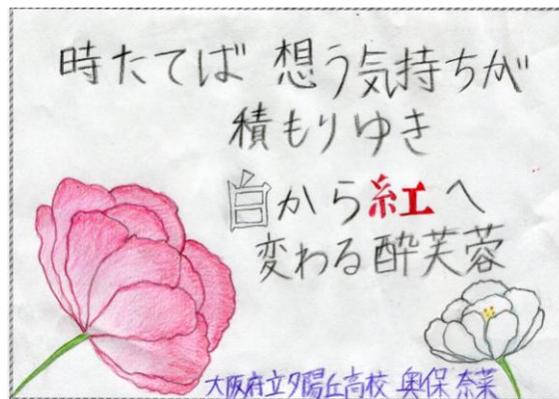
日本へ帰国してきて感じるはひらがなカタカナとても落ち着く
青春の全てを捧げ奏でたい私の恋人グランドピアノ

二年五組 川村 奈緒子
一年八組 谷村 佳奈

〈 佳作 〉

木ノ葉落ち裸になった木々たちが春の足音に耳すませてる
大丈夫あなたならきっとそう言ってカイロを持たせた母の温もり
長い髪なびく背中が目に止まるそっと流れたやさしい時間
先輩とLINEで会話3時間会うと全く開かない口
田舎からはるばる来たる梨の箱皮をむく刃にしたたる雫
夕焼けに照らされかがやく龍虎塔龍から入り虎から出るよ
マザコンか！そんな言葉も気に留めず母に贈る一輪の花
一人では出せない音がそこにあるみんなの想い届く感動
夏の日にホールいっぱい響いてるあの音の中いつか私も

一年五組 奥村 武人
一年五組 永田 絢加
一年五組 石田 結
一年四組 越川 以世里
二年二組 川崎 未侑
二年五組 大槻 由香
二年四組 池上 嘉洋
二年八組 井谷 珠綺
一年二組 正岡 玲那



【当面の日程】

- 2月27日（土）卒業式
- 2月25日（木）～3月2日（水）後期末考査
- 3月7日（月）テスト返却 大掃除
- 2月29日・3月9～18日
3月10日の入試に伴う生徒登校禁止、校舎立入禁止
などがありますので、気をつけてください。
- 3月22日（火）終業式
- 3月23日（水）新1年教科書販売
- 3月24日（木）新2・3年教科書販売
- 4月 7日（木）新年度始業式・入学式



**皆さん、インフルエンザが流行っています。
健康に注意し、新学期を迎えましょう。
卒業生の皆さんは、同窓会などでお会いするのを楽しみにしています。**